



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

2020 年度 部会各賞の紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では、コロイドおよび界面化学分野で顕著な業績をあげられた研究者・技術者を表彰するために Lectureship Award (LA), 科学奨励賞および技術奨励賞の各賞を設けております。以下に 2020 年度の受賞者について紹介させていただきます。

Lectureship Award

LA 賞は、「当該分野で著しい活躍をされている、あるいは将来この分野での活躍が期待される著名な研究者」に対して授与される国際賞です。本年度は、

- ・ Nikolai D. Denkov 教授
(University of Sofia, Bulgaria)
 - ・ Vincent S. J. Craig 教授 (The Australian National University, Australia)
- のお二人が受賞されました。

Nikolai D. Denkov 教授は、1993 年 University of Sofia にて博士号を取得後、日本において ERATO「永山たん白集積プロジェクト」に参加された経歴をお持ちです。その後 2008 年より同大学教授として精力的に活躍されています。界面活性剤の溶液物性、エマルジョンの設計とレオロジー研究、泡の制御、薄膜の表面力などコロイドおよ



Nikolai D. Denkov
教授

び界面化学の王道とも呼べる分野で多くの先駆的な研究成果を残されています。

Vincent S. J. Craig 教授は、現在 The Australian National University の教授としてコロイド・物理化学の広範囲な分野において研究を実施され、数多くの優れた業績を残しています。



Vincent S. J. Craig
教授

特に顕著な業績をあげられている研究として、「AFM による固体表面間力の評価」があげられます。Craig 教授は、コロイドプローブ法を駆使し、疎水性引力、界面活性剤・高分子吸着の影響など、幅広いトピックに対して重要な貢献を果たしています。世界で初めて疎水面での液体のすべりを定量的に測定することにも成功しています。

このほかにも、「バルク液体および固液界面における気泡の研究」、「溶液の物性に対するイオン種の影響」などのテーマについて、顕著な優れた業績をあげられています。

科学奨励賞

若手研究者に対して授与される「科学奨励賞」には、産業技術総合研究所主任研究員の日下靖之博士が選ばれました。日下博士は、これまで印刷エレクトロニクス、微粒子分散、薄膜形成などの分野で研究を推進されていますが、特に印刷

エレクトロニクスに関して、微細積層印刷による電子デバイス作製技術について顕著な業績をあげられている点が評価されました。



日下靖之 博士

なお、企業の若手研究者に対して授与される「技術奨励賞」については、今年度は該当者なしという結果になりました。

おわりに

例年、LA 賞受賞者は、9 月に開催されるコロイドおよび界面化学討論会で受賞講演をしていただいておりますが、今年は、新型コロナウイルスの感染拡大により延期となり、来年の討論会（9 月に広島大学にて開催予定）にてご講演いただくことを予定しております。

また、2021 年度の各賞の募集も実施いたします。LA 賞は、コロイドおよび界面化学部会の国際化に大きく寄与するものであり、また科学奨励賞・技術奨励賞は、若手研究者によるコロイドおよび界面化学の研究分野、ならびに本部会のますますの活性化を期するものでありますので、積極的な応募をお願い申し上げます（詳細は部会 HP (<https://colloid.csj.jp>) をご確認ください）。

〔副部会長・賞選考委員長 酒井秀樹
(東理大理工)〕

© 2020 The Chemical Society of Japan